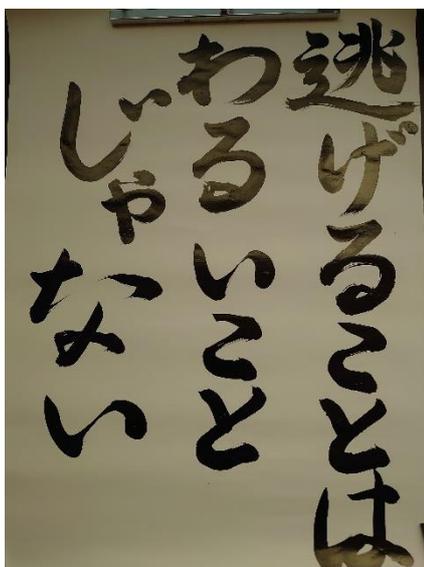


慶念寺々報

# つなごがい

## 慶念寺の掲示板 第十九回



「逃げることはわるいことじゃない」

私は長い間、逃げることや頼ることは悪いことだと思っていました。学生の頃などは特にその気持ちが強かったように思います。しかし、大人になって思います。逃げることはわるいことじゃない。

「話せばわかる」と言いますが、人と関わる機会が増えれば増えるほど、分かり合えない人もいることに気が付きました。それは、自分を傷つける存在であったり、逆に私が相手を傷つける存在になってしまったりすることだってあります。

しかし、無理をする必要はないんです。親鸞聖人も「悪をこのむ人をば、つつしんでと



ほざかれ」と善導大師のお言葉を引いて門弟に伝えていきます。私自身も思うままにふるまうのであれば、それは私が悪を好んでいる状況であるとも言えます。そうではなく、



どうしても生き方が合わないのであれば「慎んで遠ざかる」ことは決して悪いことではないのです。

そして、遠ざかるといふ言葉にも大切な意味があるのではないかと思います。「遠ざかる」と聞いた時に、どのような状況を想像するでしょうか。視線はどこを向いているでしょうか。私は、その問題から目を放さずに距離を置いていく状況を想像します。

学生の頃に観たアニメの中で「嫌なことがあったら逃げてもいいけれど、目をそらしているだけでは逃げたことにはならないんだよ」と言うセリフがあって、すごくハツとしたことを憶えています。

目をそらしているだけで逃げたつもりになったならば、いつかは捕まります。自分と嫌なことの間をしっかりと見据えて、自分の出来る最善を尽くしていく。それが慎んで遠ざかるということなのかなと思います。

でも、背を向けて一目散に逃げた方が良いでしょう。なりふり構わず逃げた方がいいです。無理して傷つくことはありません。そうではない時は、しっかりと距離を測って最善を尽くしていくことによって本当の意味で遠ざかることが出来るのだと思います。無理は禁物です。



## 御本尊修復に御協賛をお願ひします



先月の寺報でも少し書きましたが、新たに御本尊をお迎えすることになりました。

しかし、彩色の剥落や手の欠損などが見られるため、お迎えするにあたり作製当初の状態に復元する「完全修復」を行うことにいたしました。

つきましては、御本尊の修復にあたり、協賛事業を行います。修復にあたりご協賛いただけ方のお名前を慶念寺の歴史、御本尊をお迎えする経緯と共に巻物に記し、御本尊の中には、同封の「御本尊修復協賛のお願い」をご確認ください。また、この度の修復へのご協賛はあくまでも任意です。ご理解の上、ご協力賜れますと幸いです。ホームページにも特設ページを開設する予定です。質問などございましたら、気兼ねなくお尋ねください。

## 徳川将軍家の菩提寺由来の御本尊

完全修復をするにあたり、御本尊を一度解体したところ、仏師さんより「胎内に文章が残されている」との連絡をいただきました。

内容を確認してみると、この御本尊は、正保三年(1646年)に作製されたもので、「三河額田郡成道山大樹寺」というお寺から、子院の「善楊院」の三代目住持「賃譽山



哲」に下付されたという記述がありました。

この、「成道山大樹寺」と言うのは、今年の大河ドラマ「どうする家康」にも

登場する、徳川

将軍家の菩提寺です。もしかしたら、この度お迎えする御本尊も、当時の将軍で同じく三代目の徳川家光もお参りしていたかもしれません。そう思うと非常にロマンがあります。御本尊の体内には他にも巻物が残されており、こちらも修復に際して解読をしていく予定です。詳しいことがわかりましたら、ブログや寺報でご報告いたします。

### 発送作業手伝いのお願い

来月も、寺報の発送作業のお手伝いをしていただける方を募集いたします。

日時：令和五年四月二十二日 (土)

十五時から

場所：慶念寺本堂

内容：寺報等の封筒詰め作業

なるべく短時間で終わる予定でありますので、お手伝いいただける方は、電話やメールなどでご連絡ください。ご連絡、心よりお待ちしております。終了後、ご希望の方は駅までお送りいたします。お話ししながら楽しく作業しましょう。ご連絡お待ちしております！



### 仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかねる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。

### ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、感染拡大防止のための暫定的な処置として、オンラインを利用してのご法事も行っております。お気軽にご相談ください。また、お布施に関しての質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

### お手紙下さい

おうちにあまつている便せんやハガキ、切手などがありませんでしたら、是非慶念寺にお手紙をください。住職や坊主がお返事をいたします。最近では、お手紙をいただくことも増え、本当に嬉しく思っております。日常の事、ご相談などなど。是非お寄せ下さい。

### 次回の法話会は

四月十六日(日) 十四時から慶念寺本堂にて

「定例法話会」を行います。

皆様のお参り、心よりお待ちしております。

### 編集後記

本文中にも書きましたが、御本尊を修復するにあたり、体内に文章が残されていることに驚き、江戸初期の作と知りさらに驚くという二重のビックリがありました。文中には、くずし字で書かれている部分もあり、自分で読めない部分もありました。なので、学芸員をやっている後輩に読んでもらったところ「ナウい！大樹寺ものですか！」という返事。初めは「なんのこっちゃ」と思ったのですが、よく考えたら今年の大河ドラマに登場している。それに気付いた時にさらにビックリ。しかも徳川将軍家の菩提寺であることを思い出しましたまたビックリ。もう四重のビックリです。もしかしたら、中に取められている巻物の内容を見てまたまたビックリと言う可能性も残されています。これから、修復と共に解読を進めていくのが楽しみです。



浄土真宗本願寺派 築地本願寺

川崎多摩布教所 慶念寺

〒214-0012

川崎市多摩区中野島 4-24-2-5

電話：044-819-5482

FAX：044-819-5538

Email：mail@kyounenji.com

ホームページ URL

<https://kyounenji.com/>



慶念寺ホームページ QR コード